



がん治療におけるバイオシミラーの理解促進および経済的負担を考慮した意思決定支援

ファイザー 公募型 医学教育プロジェクト助成 社内審査プロセス

I. 背景

ファイザーの Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体が立案・実行するプロジェクト（ファイザーが注力する疾患領域における研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト）を支援します。

この医学教育プロジェクト助成は、医療担当者の教育ニーズを支え、医療の質の向上及び人々の健康の増進のために、医療現場において生じている医学的・科学的知識のギャップ（ナレッジギャップ）を埋めるための“教育プロジェクト”を教育助成金として支援するものです。

助成金支援の対象となるプロジェクトについての具体的な内容や、審査／承認のスケジュール等は、本公募内に掲載しています。

プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

February2022

II. 応募資格

対象国:	日本
申請団体要件	<p>以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関 • 医療系の学会・研究会等 • 医療系の財団法人・NPO 法人等（疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など） • 医師会・薬剤師会・歯科医師会 • その他医学教育を事業としている団体（医学教育情報を提供している出版社など） <p>他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。</p> <p>応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。</p>

III. 公募詳細

公募開始日	2022 年 4 月 28 日
公募対象疾患	バイオシミラー（オンコロジー領域）
本公募の目的	<p>本公募は、オンコロジー領域に携わる医療従事者を対象に、患者の経済的負担を考慮した意思決定支援およびバイオ医薬品へのアクセス向上につながる教育プロジェクトを支援します。</p> <p>オンコロジー領域では近年バイオ医薬品の使用が急増しており、持続可能な医療制度や患者の経済的負担を考慮すると、バイオシミラーは重要な治療選択のひとつとなっています¹⁾。一方で、バイオシミラーの認知および理解度は依然として低く治療選択を含め、患者の価値観を踏まえた意思決定支援は十分に実施されていない状況です²⁾。患者の価値観や経済的側面を考慮した意思決定、患者中心の医療の実現につながる意思決定支援の知識・技術習得の機会を提供し、バイオシミラーへの理解を促進する教育プロジェクトを公募します。</p> <p>本公募では一例として以下のような教育プロジェクトを公募しますが、これらに限るわけではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • がん治療や看護において、患者の意思決定を支援するツール（Decision aids

	<p>等)を提供し、患者－医療従事者間のコミュニケーションを促進することを目的とした教育プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> がん治療にともなう経済毒性(Financial Toxicity)を考慮し、患者の価値観と一致した意思決定ができる環境整備を目的とした教育プロジェクト バイオシミラーに対する懸念を払拭し、正しい理解と適正使用の推進を目指すことを目的とした教育プロジェクト 実臨床におけるバイオシミラーの導入や院内の治療プロトコル作成を支援することを目的とした教育プロジェクト 持続可能な医療制度への貢献を目指し、社会保障制度に関する理解度を促進し、治療意思決定に必要な知識を補完することを目的とした教育プロジェクト <p>教育プログラムの形式は、イベント、サテライトシンポジウム、ハンズオンセミナー、ワークショップ、オンラインコース、印刷物など、が考えられます。</p> <p>注意事項: 介入試験、臨床試験、非臨床試験、疫学研究等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。</p>
<p>教育プロジェクトの対象者 (受講者)</p>	<p>がん治療やケアに携わるすべての医療従事者(医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、患者の包括的ケアや社会的サポートに携わる組織、等)</p> <p>* 対象者が「患者のみ」の教育プロジェクトは、本公募の対象外です。</p>
<p>本公募の助成額</p>	<p>プロジェクト 1 件あたりの上限額:6,000,000 円</p>
<p>締切日等 スケジュール</p>	<p>公募開始日:2022 年 4 月 28 日</p> <p>申請締切日:2022 年 7 月 30 日(アメリカ東部時間)</p> <p>審査結果通知:2022 年 10 月</p> <p>助成金は教育助成契約締結後に支払われます。</p> <p>助成金を使用したプログラムの実行:2023 年 1 月～2024 年 12 月(2 年間程度)</p>
<p>申請方法</p>	<p>申請はオンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。 www.cybergrants.com/pls/cybergrants/</p> <p>初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> “Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?” の質問には Yes を選択してください。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ Competitive Grant Program Name の選択では、“2022 ONC JP: Understanding of Biosimilars and Shared Decision Making including Financial Burden in Cancer Treatment”を選択してください。 ○ Primary Area of Interest の選択では“Oncology- Biosimilars”を選択してください。 <p>申請に必要な情報を申請システムに英語で入力し、5 ページの「プロジェクト申請書様式」を参照の上、プロジェクト申請書 (Letter of Request/Agenda/Project Description) を作成しシステム内にアップロードしてください。</p> <p><u>* プロジェクト申請書(Letter Of Request/Agenda/Project Description)のみ日本語での記載が可能です。</u></p> <p>システム上の不具合・エラー等が生じた場合は、ページ下部にある“Technical Questions” よりお問い合わせください。</p> <p>注意事項: 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。</p>
<p>お問い合わせ</p>	<p>ファイザー株式会社MEG-J事務局</p> <p>megjapan@pfizer.com</p> <p>お問い合わせ際、件名に、今回の公募タイトル「がん治療におけるバイオシミラーの理解促進および経済的負担を考慮した意思決定支援」をご記載ください。</p>
<p>助成契約</p>	<p>助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、こちらをクリックしてください。</p> <p>ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。</p>
<p>審査</p>	<p>本公募により受け付けた助成申請は、ファイザーが最終的な助成金決定を行うために審査します。</p>
<p>その他(注意事項等)</p>	<p>ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。</p> <p>レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。</p> <p>2022 年 11 月末までに入金手続きを完了する必要があります。申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門・経理部門を含む)における手順を事前にご確認ください。</p>

リファレンス

- 1) Sakamaki H., et. al., Jpn. Pharmacol. Ther. 49 (5): 691–, 2021
- 2) Tajima K., et. al., The health care, 63 (5): 351–357, 2021.

《プロジェクト申請書様式》

以下様式にてご作成ください。尚、記載は最大で 15 ページとします。フォントは MSP ゴシック、フォントサイズは 11 ポイントでお願いします。

プロジェクトの背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。
プロジェクトのニーズ評価	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況(プロジェクト対象者のレベルなど)をふまえ、記載してください。(定量的データがあれば望ましい)
プロジェクト対象者 (受講者)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの主な対象者(受講者)を記載してください。対象者の数を記載してください。
プロジェクトプラン	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
プロジェクトの画期性	<ul style="list-style-type: none"> 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した(もしくは進行中の)プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。
プロジェクトの評価・結果の測定	<ul style="list-style-type: none"> ナレッジギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 判定に使用するデータソース データの収集・分析方法 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法 プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。(例:ベースラインから 10%上昇する)
プロジェクト終了後の展開	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの開始日・終了日、及び全体のスケジュールを記載してください。

次頁へ

<p>その他、プロジェクトに関する追加情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> • その他、上記以外の情報があれば、記載してください。
<p>申請団体・プロジェクトメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 申請団体についての詳細を記載してください。 • プロジェクトメンバーを記載してください。
<p>予算</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本プロジェクト申請書とは別に、申請システム内に直接入力してください • 弊社からの助成金は“個人費用”(懇親会費、一般参加者の交通費など)、プロジェクト終了後、申請団体の資産となりえるもの(パソコンおよび周辺機器、医療機器など)、医薬品の購入に使用できません。 • 団体・施設へのオーバーヘッドは、総予算の28%を上限に計上することができます。 • 消費税込みで入力してください。